

# 母性看護学演習

[演習] 1年・2年 後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》常田美和[tsuneta@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

## 【学修目標】

- 1) 周産期の中でも、主に出産後の女性の健康状態のアセスメントと援助方法を理解できる。
- 2) 周産期における女性と家族を対象とした援助について、先行研究を批判的に吟味できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	出産後の女性の健康状態のアセスメントと援助	母乳育児	常田
3 ) 4	出産後の女性の健康状態のアセスメントと援助	産後うつ病・育児不安・疲労	常田
5 ) 6	出産後の女性の健康状態のアセスメントと援助	新しい家族との暮らしへの適応 親への移行	常田
7 ) 8	周産期における女性と家族への援助	女性と家族への看護援助と倫理的課題	常田
9 ) 10	周産期における女性と家族への援助	周産期ケアの提供システムの構築と評価	常田
11 ) 12	周産期における女性と家族への援助	周産期における看護実践に関する先行研究の検討 (学生によるプレゼンテーションとディスカッション)	常田
13 ) 15	周産期における女性と家族への援助	周産期における看護実践に関する先行研究の検討 (学生によるプレゼンテーションとディスカッション)	常田

## 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

ディスカッションへの参加(30%)、プレゼンテーション(30%)、課題レポート(40%)で評価する。

## 【教科書】

なし。適宜資料を配布する。

## 【参考書】

随時提示する。

## 【学修の準備】

事前に関連する文献を読み、授業に臨むこと。

## 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期(修士)課程のディプロマ・ポリシーに適合している。